

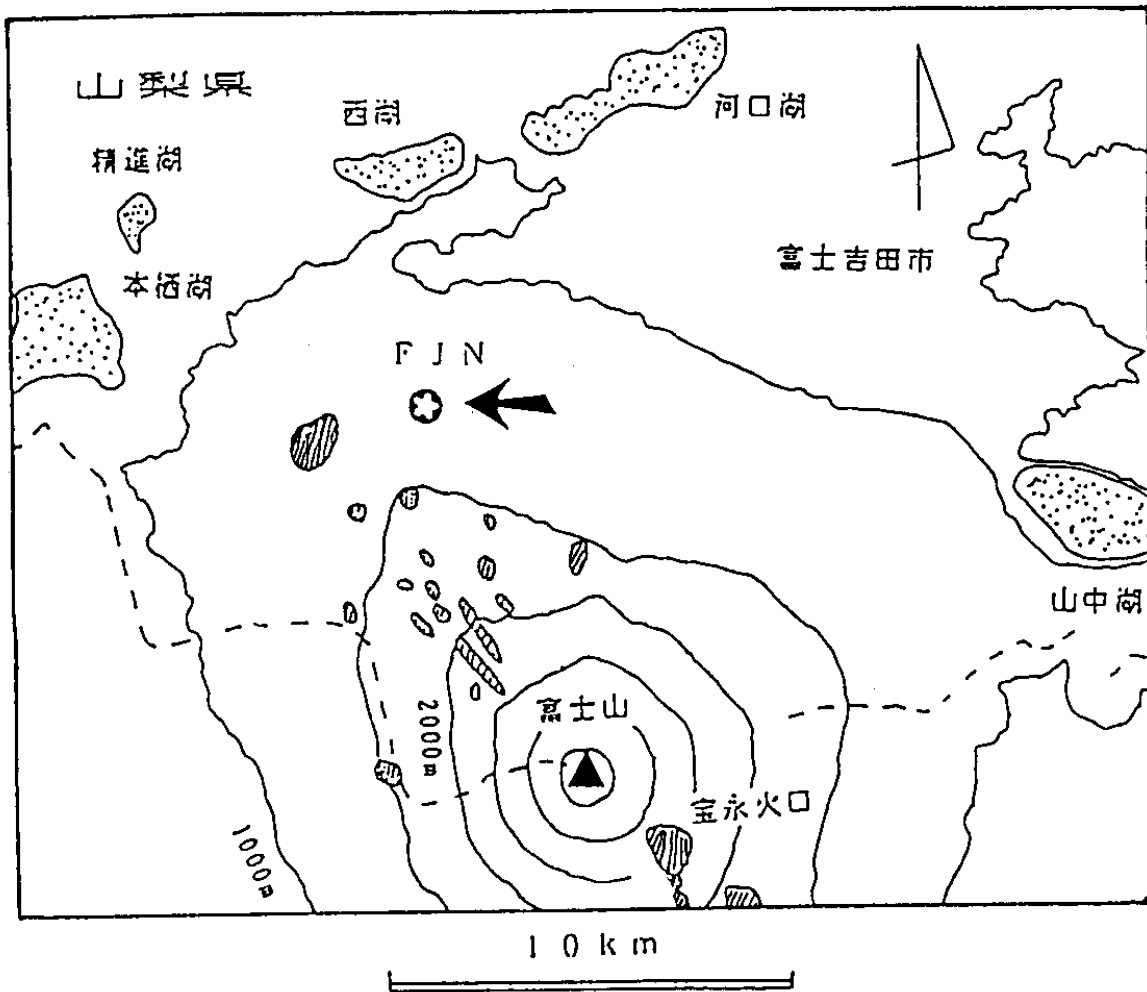
#### 4-8 最近の富士山における傾斜変動 Recent tilt changes at Mt. Fuji

防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

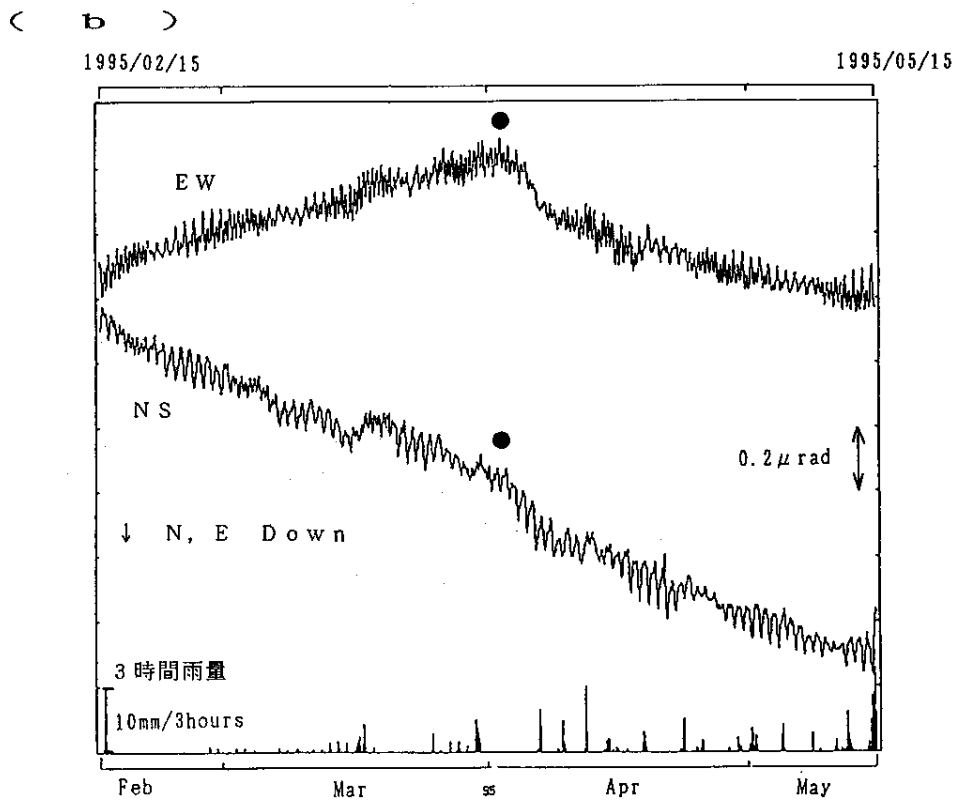
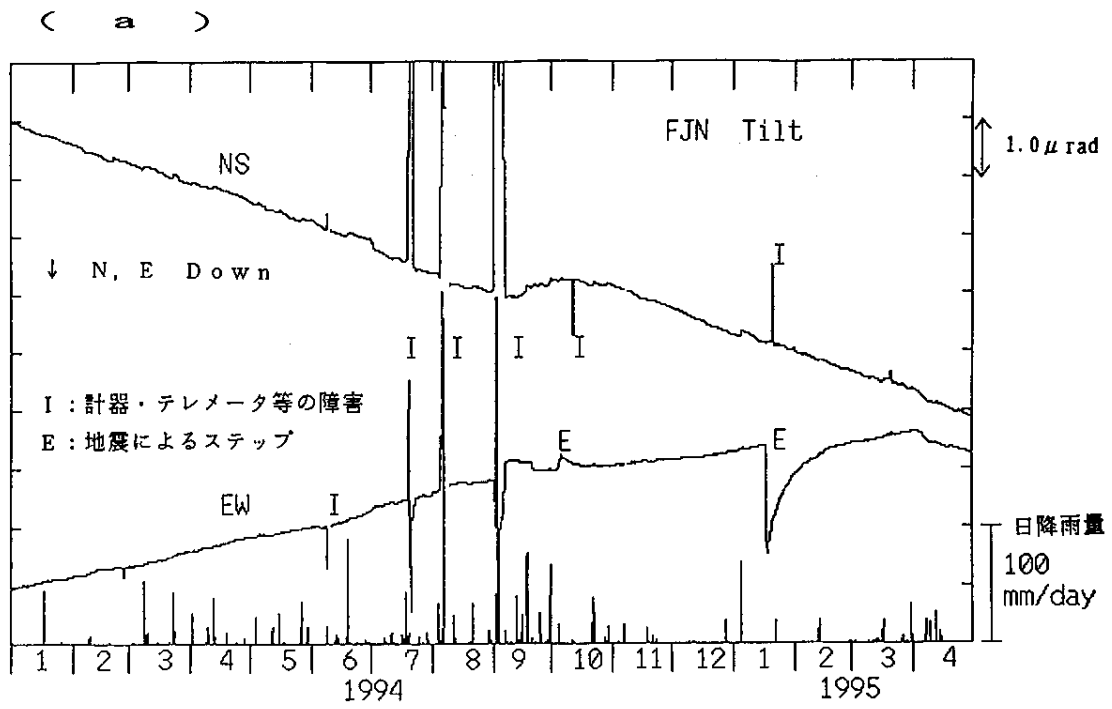
富士鳴沢火山活動観測施設（第1図）における深さ200mのボアホールによる傾斜変動観測の結果を示す。第2図(a)は1994年1月から1995年4月の24時間の移動平均を施した値（日平均値と呼ぶ）である。第2図(b)に1995年2月15日から5月15日の時間値（毎正時の値）を示す。定常的なドリフトからの顕著なずれは、1994年9月（特に南北成分）と1995年4月に見られる。このうち、1994年9月の変動は降雨によるものである。1995年4月の変動は東西成分に顕著であるが、南北成分にも認められる。丸印で示すように4月2日頃から数日にわたり、急激に変化した。特に東西成分は、その後、従来のドリフトと逆方向への緩やかな変化を続けている。降雨の影響ではないことは確実であるが、広域の地殻変動か観測井周辺に原因があるかは不明である。

（鵜川元雄）



第1図 富士鳴沢火山活動観測施設 (FJN) の位置

Fig.1 Map showing the location of FJN.



第2図 (a)FJNの傾斜変動の日平均値(1994年1月~1995年4月)。(b)時間値(1995年2月15日~5月15日)。傾斜変動の傾向が変化した時期を●で示す。

Fig.2 (a) Daily mean values of tilt change observed at FJN (1994/1/1-1995/4/30). (b) Hourly values of tilt change at FJN (1995/2/15-5/15). Solid circles indicate the remarkable tilt change.